

～南出市長からのメッセージ～

接種を希望される皆さんへ

泉大津市では、新型コロナワクチンを希望される方が円滑に接種できるように、関係機関との連携のもと安心して接種いただける体制を整えています。

新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。ご本人が希望する場合に限り接種を行うことになります。また、**接種を希望しない方に対して接種を強要したり行動制限を求めること、同調圧力をかけること、さらに、差別することなど決してあってはなりません。**

予防接種を受ける方は、予防接種による発症予防や重症化予防に期待される効果と副反応のリスク、流行している新型コロナウイルスの特徴を確認の上、自らの意思で接種してください。

新型コロナワクチンは、人体に実用化するのが初めてとなる遺伝子ワクチンです。また、新型コロナワクチン接種後に、ごくまれに心筋炎・心膜炎を発症した事例が報告されています。特に10代・20代の男性の2回目の接種後4日程度の間に多い傾向があります。**接種による感染予防効果や中長期的な人体への影響、追加接種による人体への影響については明らかになっていません。**よって、自身でも情報収集し、慎重に検討の上、判断してください。年代ごとの重症化率や死亡率等につきましては、下表の【大阪府内の状況】をご参照の上、判断していただけますと幸いです。



ワクチンの効果について

感染予防

接種した人は感染しない



発症しない感染者が多数存在する新型コロナでは、実証が難しい

発症予防

発症者が減少する

(時間の経過とともに徐々に低下する可能性がある。)

重症化予防

重症患者が減少する

(時間が経過しても比較的高く保たれていると報告されている。)

―― ワクチン1,2,3回目接種で有効とされている効果 ――
(引き続き集積される様々なデータの確認が必要)

※オミクロン株に対する発症予防効果は、デルタ株に対する発症予防効果より、さらに低下することが示されています。

※2021(令和3)年7月21日「第64回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会参考資料5」及び厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」より文章を一部抜粋

重症及び死亡率の推移について (R5.4.23日判明時点)

- 第六波 (R3.12.17～R4.6.24) : 重症化率 0.11% 死亡率 0.27%
- 第七波 (R4.6.25～R4.9.26) : 重症化率 0.03% 死亡率 0.12%
- 全数届出見直後 (R4.9.27～) : 重症化率 0.07% 死亡率 0.26%

※第88回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議資料を基に作成

【大阪府の新型コロナウイルス感染状況等について】

- 大阪府内の令和4年9月27日から令和5年4月23日までの30代以下の死亡率は0.00%となっています(右表参照)が、決して油断せず、手洗い・うがい・口腔ケア・鼻洗浄等、日々の感染予防を心がけましょう。
- また、自己免疫力を維持向上させるためにも、より良い食生活や適度な運動を心がけ、しっかりと睡眠をとり日頃から体調を整えましょう。

【大阪府内の状況】

全数届出見直し後R4.9.27以降(R5.4.23判明時点)

	年代	新規陽性者数	重症者数	重症化率
重症化率	19歳以下	167,958	17	0.01%
	20・30代	231,071	20	0.01%
	40・50代	221,769	69	0.03%
	60代以上	134,776	413	0.31%
	総計	756,539	519	0.07%

	年代	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
死亡率	19歳以下	167,958	5	0.00%
	20・30代	231,071	7	0.00%
	40・50代	221,769	67	0.03%
	60代以上	134,776	1,920	1.42%
	総計	756,539	1,999	0.26%

新型コロナウイルスに関する市長メッセージ
(R5.5.12)

「ワクチンについてわかってきたこと」



※第88回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議資料より

新型コロナワクチンの副反応疑いについて

1. 国内における新型コロナワクチンの副反応疑いについて

令和5年4月28日厚生科学審議会資料を基に作成

①ワクチン別副反応報告件数（医療機関からの報告分）

	副反応疑い 報告数 (報告頻度)	うち 重篤 報告数 (報告頻度)	うち 死亡 報告数 (報告頻度)
ファイザー (総数)	30,583 (0.0104%)	7,202 (0.0024%)	1,380 (0.0005%)
小児用 ファイザー	143 (0.0035%)	40 (0.0010%)	3 (0.0001%)
乳幼児用 ファイザー	6 (0.0016%)	2 (0.0005%)	0 (0.0000%)
モデルナ (総数)	5,527 (0.0066%)	1,281 (0.0015%)	177 (0.0002%)
ノババックス	42 (0.0136%)	12 (0.0039%)	1 (0.0003%)

※ファイザー社（推定接種回数：小児・乳幼児含む） 298,915,069回

※モデルナ社（推定接種回数） 83,341,962回

※接種開始日（ファイザー：R3.2.17 エル礼：R3.5.22）以降の累計報告件数

※インフルエンザワクチン（令和2年10月から令和3年3月）での医療機関からの報告によると、6,547万回接種で重篤な副反応が169件、死亡事例が3件となっています。

※医療機関または製造販売業者から死亡として報告された事例は、ファイザー社製ワクチンで1,829件、小児用ファイザー社製ワクチンで3件、乳幼児用ファイザー社製ワクチンで1件、モデルナ社製ワクチンで224件、武田薬品工業社製ワクチン（ノババックス）で1件となっています。

令和3年12月24日厚生科学審議会資料を基に作成

②国内のワクチン接種後の心筋炎・心膜炎疑い報告(10代)

男性 156人 女性19人 合計175人

（内訳）

ファイザー社製ワクチン

男性 101人 女性 15人 合計116人

モデルナ社製ワクチン

男性 55人 女性 4人 合計59人

※1回目接種後の報告と2回目接種後の報告の合計

※厚生労働省は、令和3年12月に心筋炎、心膜炎を重大な副反応として位置づけ、医療機関等から報告を求めています。

ワクチンの安全性と副反応については、こちら（市HP）をご覧ください。



2. 接種後、起こることがある症状

●アナフィラキシー

- アナフィラキシーとは、じんましんや赤み、かゆみなどの皮膚の症状、くしゃみや咳、息苦しさなどの呼吸器の症状など複数の症状が短時間にあらわれるアレルギー症状のことです。このアナフィラキシーによって、生命を脅かす危険な状態になることをアナフィラキシーショックといいます。
- ショックやアナフィラキシーが1回目接種で認められた場合、2回目の接種は受けられません。
- アナフィラキシーの既往や重度のアレルギー症状がある方は、1回目の接種前に必ずかかりつけ医にご相談したうえで、接種するかどうか決めてください。

●血管迷走神経反射（けっかんめいそうしんけいはんしゃ）

- ワクチンを受けたことに対する緊張や痛みをきっかけに、血の気が引いて、立ちくらみがしたり、気を失ったりすることがあります。横になって休めば、自然に治ります。たおれてケガをしないよう、背もたれのあるイスですわって休んでください。

●心筋炎（しんきんえん）・心膜炎（しんまくえん）

- ワクチン接種後4日程度の間に、胸の痛み、動悸（どうき）、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。

●ギラン・バレー症候群（ギランバレーしょうこうぐん）

- 接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。



3. 新型コロナワクチンの副反応の相談・健康被害救済制度について

▷ワクチン接種後の体調不良や長引く副反応に関する相談・診療窓口

相談：泉大津市 健康づくり課（☎0725-33-8181 平日8:45～17:15）

診療：市内6医療機関が対応しています（保険診療）

（かかりつけ医療機関がある方は、まずは主治医にご相談ください）

▷オンライン相談

新型コロナ感染症の後遺症にお悩みの方やワクチンの副反応などにお悩みの方は専門医が個別に対応します。（泉大津市民無料）

▷新型コロナワクチン健康被害支援金

新型コロナワクチン接種後に副反応（副反応疑いを含む）などで健康被害を生じ、国の予防接種後健康被害救済制度の申請をされる方を対象に、申請までにかかった医療費等の費用の一部を市独自の「支援金」として支給します。

お問い合わせ先：泉大津市 健康づくり課（☎0725-33-8181 平日8:45～17:15）

「健康被害救済制度」



「オンライン相談」

